

サビのない時代へ。

環境に配慮された**完全水性塗料**。

サビに**直接塗装**するだけでサビの再発を防止。

亜鉛メッキにも**塗装が可能**。

上塗り塗料は何でも使用可能。密着良好。



サビの奥まで浸透し、強力なサビ転換機能でサビを酸化の進まない安定した状態（赤サビ↓黒サビ）へと転換…これまでとは一味違う常識破りの画期的塗料です。

サビに直接塗れます！

赤サビ→黒サビ

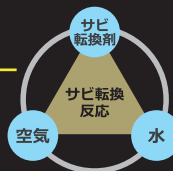
水性 サビ転換塗料

サビキラーPRO

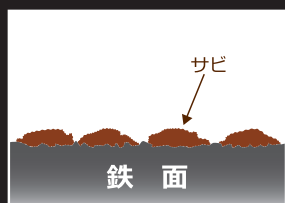
しつこいサビを根こそぎ封じ込む

サビを封じ込めるメカニズム

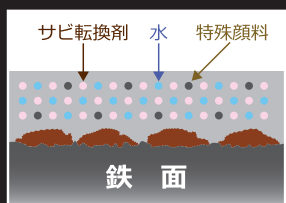
「錆転換反応」とは…
サビが錆転換する際に必要な3要素が錆転換剤・空気そして水です。この3つの要素がそろって初めて赤サビが黒サビに転換する反応が起きます。サビキラープロはサビの特性をよく理解した上で開発された水性塗料なので、塗装してすぐ反応を起こし、素早く確実にサビを逃さず黒錆に転換するのです。



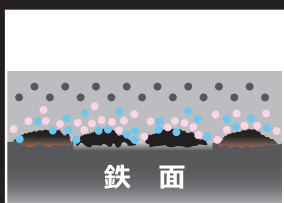
シルバー



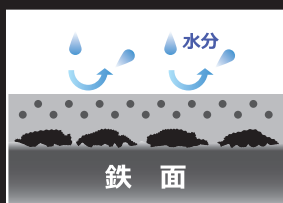
①鉄部がサビで、塗装をする前の状態です。



②サビの上に、サビキラープロを直接塗布します。
(サビキラープロはサビ転換剤と特殊顔料の水の3種構造)



③サビ転換剤と水がサビと反応して、赤サビが黒サビへと転換。サビの進行をストップさせます。

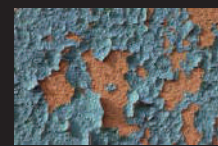


④進行しない黒サビに転換し、ガッチリ固定されている状態です。これで長期的にサビの再発と、新たなサビの発生を防ぎます。



⑤特殊顔料により水性・油性どちらの塗料でも上塗りが可能です。サビを根こそぎ封じ込めた上に、お好みの塗料で仕上げる事が可能です。

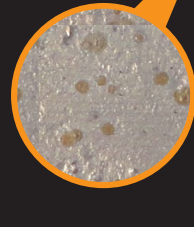
1回塗り



触ってぼろぼろ落ちる様な浮きサビや、膨れたサビは必ず落してから塗装してください。



表面がツルツルしていたり、新しい塗膜の上に塗装する際は、サンドペーパー等で目粗らしをしてから塗装してください。



サビ転換反応について

◀サビキラープロがサビによく反応した部分が、茶色や黒っぽい色に変色することがあります。

※サビの状態や環境、素材により反応色が出る場合と出ない場合があります。出なくてもサビにはしっかり反応している為、問題はありません。



◀動画で解説

サビキラープロの優れた特性を動画で解説。
左のQRコードからご視聴ください。

1 液性金属用塗料 / 水性サビ転換塗料
水性特殊アクリル樹脂系塗料

サビキラープロ



■サビキラープロの特長

1. サビの上に直接塗れる (サビ取り不要)

サビキラープロは、サビと転換剤を反応させてサビの進行を止める塗料なので、サビにそのまま直接塗装してこそ効果を発揮します。赤サビを黒サビに転換させサビの進行を止めることができる画期的な塗料です。

2. ケレン作業の手間が省ける

塗装の作業工程の中で最も手間のかかるケレン作業。100%完璧なケレンはプロでも困難。それだけで手間や経費がかかってしまうのが現状です。しかしサビキラープロはケレン作業の手間も経費もカット。それなのにサビの再発を防ぐことができます。

3. 人と環境にやさしい水性塗料

従来のサビ関連商品はほとんどが溶剤(油性系)であるのに対し、サビキラープロはなんと水性塗料。そのためシンナー等の臭いの問題もない環境配慮型塗料です。また希釈や用具のかたづけも水道水が使用できます。

4. 鉄部が湿っていても塗装可能

サビキラープロは水性なので、鉄部が少々湿っていたり濡れていてもウエス等で拭き取ったからの塗装も可能です。溶剤(油性)塗料では塗布面が完全に乾いていないと塗装が出来ないため、結露のある午前中からの作業ができませんでしたが、サビキラープロなら早朝からの塗装も可能です。

5. 施工が簡単で取り扱いやすい

従来のサビ転換剤の使用は、サビた部分のみの使用が限定されていました。実際には旧塗膜の付着やサビの無い部分もあり、施工は単純ではありません。サビキラープロは塗膜の上でもサビの無い部分でも、もちろんサビの発生部でも区別なく塗れ作業性も抜群。また、速乾性も優れ扱いやすい塗料です。

6. 亜鉛メッキにも塗装可能

通常、亜鉛メッキには塗料が密着しにくく塗装は困難とされてきました。しかしサビキラープロは亜鉛メッキへの密着も良好。他にもガルバニウム、アルミニウム、サム鋼板にも塗装可能です。

7. サビ止めプライマーとしても使用可能

従来のサビ転換剤はサビ転換機能だけで使用箇所もサビた部分に限定されていましたが、サビキラープロはサビた部分はサビ転換、サビていない金属に塗った場合はサビ止めの効果があり、上塗りをする前の下地処理に最適です。

8. 上塗りは水性、油性(溶剤)どちらもOK

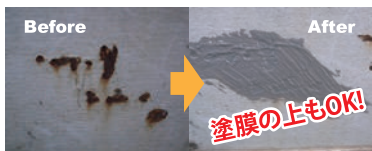
通常、水性塗料の上に溶剤(油性系)を使用するとちぢみ等のトラブルがありました。しかしサビキラープロはこれまでの常識を覆し、上塗りに溶剤の塗装が可能な画期的な塗料です。※塗装間隔は厳守してください。サビキラープロが完全に乾燥していない場合はちぢみを起こす事があります。

9. シーラーとしても使用可能

旧塗膜(水性系、溶剤系)の上に処理した場合は、強溶剤及び溶剤系を塗った時に起こるちぢみ等のトラブルを止める効果があります。



▲サビの上に直接塗ってもOK!



▲部分的な塗装OK!



▲全面塗装OK! (サビがない所も塗装可)



▲下地処理としての使用もOK!

※その他、車両・船舶・立体駐車場・住宅・商業施設・公共施設・発電施設など、様々な場所でご利用いただけます。(詳しくはホームページをご覧ください)
※サビキラーPROの施工後は原則上塗りを行ってください。

■データが実証! 下塗りサビキラープロ仕様での発錆検証例

・発錆鋼板にエポキシ系プライマー+エポキシ系上塗り塗料を施工し、JISK5600ベースの中性塩水噴霧試験実施試験機に投入後1,040時間後の検証 (屋外暴露4.3年相当)
※Aの試験板はサビキラープロなし、Bの試験板は下塗りにサビキラープロを使用。



A

3種ケレン
[プライマー]
250μm/回
2回塗

[上塗り]
100μm/回
2回塗

●塗板全体にサビ、サビ汚れが展開。
●クロスカット部よりの発錆は45時間。(屋外暴露:2カ月相当より発生)

B

3種ケレン
[サビキラープロ]
250μm/回
2回塗

[プライマー]
250μm/回
2回塗

[上塗り]
100μm/回
2回塗

サビキラープロ

サビキラーPROを下地処理として使用した塗板は1040時間経過後も発錆は認められず。

抜群の効果! ほんのひと手間、サビキラープロを下地処理の用いるだけで歴然とした結果の差が表れます!

【開発・製造】

特殊塗料開発製造メーカー
BAN 株式会社
Z BAN-ZI

〒262-0011
千葉県千葉市花見川区三角町 118
フリーダイヤル: 0120-012-280
URL: <https://www.ban-zi.jp/>

目的: サビ転換・防錆

用途: 鉄部全般・鉄鋼建造物・鉄骨階段
鉄ドア・折板屋根・鉄柱・機械式駐車場
車両・船舶

■標準仕様

塗料性状	内容
密度 (g/cm ³)	1.17
粘度	70(23°C・KU)
色相	シルバー
荷姿	50g / 200g / 1kg / 4kg / 16kg
乾燥時間	(指触) / 5°C-約35分 23°C-約25分 (半硬化) / 5°C-約8時間 23°C-約4時間
加熱残分 (%)	38.6
試験成績	成績 弊社社内試験による結果
耐衝撃性	JIS K5600-5-1 落球式 (発錆鋼板) 合格
防錆性	JIS K5622 (発錆鋼板) 合格
耐塩水性	JIS K5621 3種 合格
耐塩試験	塩化ナトリウム浸漬にて、一定時間以上サビの再発がない事 96時間 合格
付着性試験	クロスカット法 JIS K5600-5-6 1mm (発錆鋼板) 合格
上塗り適合性	上塗りに支障がない事 合格
屋外暴露試験	3年以上
容器中での状態	掻き混ぜたとき、固い塊ができず、一樣になること 合格
塗装標準	内容
塗装方法	刷毛 / エアスプレー / エアレススプレー / ローラー
希釈	水 (水道水または清水)
希釈率	0 ~ 5%
標準塗布量	0.14 ~ 0.18kg/m ²
塗り面積	110 m ² / 回 (16kg 缶・1回)
塗装回数	2回
塗装環境	温度 5度以上 湿度 85%以下
塗装間隔	5°C-約 16時間 20°C-約 8時間
標準膜厚	(Wet)120 ~ 140 μm (Dry)30 ~ 40 μm
関連法規制	内容
消防法区分	非危険物
引火性・発火性	無
有機溶剤予防規則	非該当
特定化学物質障害予防規則	非該当

※製品の改良により、予告なく内容表記を変更する場合がございます。予めご了承ください。

【お求めはこちらまで】

昭和建設株式会社
SHOWA CONSTRUCTION CO.,LTD.
BAN-ZI 神奈川正規代理店
神奈川県横浜市保土ヶ谷区和田1-13-21 工藤ビル2階
0120-391-052